NIPPON GOOD PARTS NGP News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2018 No.323 2月号

2018年2月19日発行
■発行責任者／佐藤幸雄 ■編集・制作／(株)プロトリオス
■発行／(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価／1部30円

第10回オートモーティブワールド開催

自動車の近未来の姿を予感させる最新技術が各所に

最新の自動車技術が一堂に会する「第10回オートモーティブワールド」が1月17～19日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

同展示会は「国際カーエレクトロニクス技術展」、「EV・HEV駆動システム技術展」、「クルマの軽量化技術展」、「コネクティッド・カーEXPO」、「自動車部品＆加工EXPO」、「自動運転 EXPO」の6展で構成されており、自動車関連メーカーの技術者を中心に活況を呈しています。今回は、延べ39,922人が訪れました。

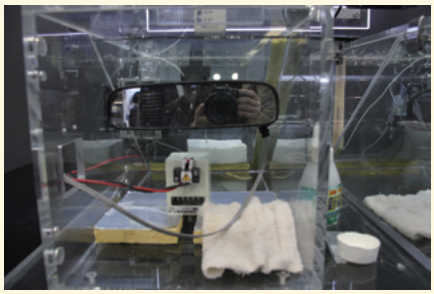
車体修理に関わる出展については、ホットスタンプ鋼の薄肉化や、含有する繊維質の長さを伸ばして強度を高めた樹脂部品などが見られました。

そのなかで、JFEスチールが展示していた三菱アウトランダーPHEVの「トポロジー最適化」を用いた軽量高剛性車体構造の提案は、今後、どの位置にスポットを打って修理すべきかまで指示される可能性を示唆する技術でした。

このほか、自動運転システムに向けたセンシング技術については、新たなセンサーの提案ではなく、既存のセンサーをどのように活かすかに力点が置かれ、防磁性、ソフトウェア、処理用チップの新製品が多く出品されました。

とくに自動運転システムについてはハッキングなど不正アクセス防止への対応についての出品が注目を集めました。

解析用ソフトやテスト機器以外で、ソフトウェアが大きな注目を集めているのは自動運転ならではの光景でしょう。

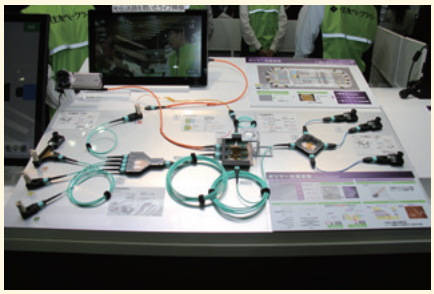


旭化成

ウインドシールドガラスの曇りを防ぐ、非接触タイプの温湿度センサー。デフロスターを最適に制御して結露を効率的に防ぐ

JFE スチール

トポロジー最適化によってスポット溶接位置や接着剤塗布部など最適化した三菱アウトランダーPHEVのカットモデルを展示



住友ベークライト

光通信による大容量かつ、劣化が極めて少ないポリマー光導波路を展示

東洋紡

高性能熱可塑性スタンパブルシートを用いて作ったホイール。高強度と軽量化を両立

日本ケミコン

耐熱温度が70℃から85℃に上がった電気二重層キャパシター（EDLC）。最大の弱点であった耐熱温度が改善

三井金属アクト

ダンパーレスが可能なパワーバックドアのモーターユニット。コンパクトな作りで、ルーフヘッドライニングの裏側に設置

新連載

工場ルポ

顧客を第一に考えた提案と地域によりそう活動で信頼される工場へ

有限会社新日本自動車

代表者：太崎義明社長
所在地：鹿児島県鹿児島市伊敷町4689

太崎義明社長

前職の経験と知識を工場運営に活かす

JR鹿児島駅から北西5kmほどに位置する伊敷町に工場を構える新日本自動車が創業したのは、1993年のことです。

太崎義明社長はもともとカーメーカーでテストドライバーとして働き、車両の設計や実験に携わっていました。当時、自動車に関するプロとしてラジオ番組などにも出演しており、視聴者から様々な質問を受けていましたが、そのときに多くの一般カーオーナーが自動車に対して誤った考え方や知識を持っていることに気が付きました。その経験から、カーオーナーに正しい知識や情報を伝えたいと考え、故郷の鹿児島市で工場をスタートしています。

創業当時から車両販売や鈑金塗装、認証整備工場認可の取得が必要ではない整備作業を行っていました。その後、分解整備をともなう作業の提供を求める顧客からの要望に応えるため、1998年に認証整備工場の認可を受けています。また伊敷町の工場から車で2～3分ほどの場所で鈑金塗装専用の工場を運営しており、こちらも同時に認証整備工場の認可を受けました。

現在、車検を月平均25台、一般整備を70～80台、鈑金塗装を15台弱、車両販売を5台ほど取り扱っており、そのほとんどが直需客です。現場スタッフは2人で、全員が整備、鈑金塗装、販売、接客まで幅広い作業に対応しています。

太崎社長はテストドライバー時代、自社の車両との比較を目的として、世界各国のメーカーの車両を運転してきました。また各種部品による比較実験では、自身でエンジンなどの交換作業を手掛けることも少なくありませんでした。それら経験で培われた技術力で、現在も軽自動車から輸入車まで幅広い車種に対応できることは、会社の大きな強みとなっています。

地域によりそったサービス

近くの小学校で行事を開催するときには店舗にポスターを掲示したり、中学校の社会科見学への協力、自治体の集まりへの参加など、地域貢献に向けた活動を積極的に実施しています。さらにNGP組合員であるオートパーツ伊地知(鹿児島県鹿児島市)からの紹介で、ベルマークサポーター工場としての活動も開始しており、同社の地域貢献活動の一端を担っています。

地域に根ざした活動を展開し、顧客と名前で呼び合うほどの関係性を築いてきました。顧客の利益を第一に考えているため、不必要に高価なエンジンオイルへの交換を求められた場合などには、しっかりと理由を説明し適切なオイルへの交換を勧めています。顧客の利益を考えるからこそ「リサイクル部品は品質と価格の面から、お客様へ利用を勧めています」と、NGPリサイクル部品を積極的に活用しています。

深い知識と高い技術力で地域からの信頼を得て、地域活動への積極的な参加で確かな人間関係を構築してきました。これからも地域に根ざしたサービスで、顧客のカーライフを守り続けていくことでしょう。

警察庁、2017年中の交通事故発生状況を発表

Topics

先進安全技術の普及を受け、事故件数、負傷者数ともに前年比減 死者数は警視庁が保有する統計で過去最少に

警察庁はこのほど、2017年中の交通事故発生状況を発表しました。それによると2017年に発生した交通事故の件数は、前年より2万7,132件少ない47万2,069件、負傷者数は同3万9,107人減の57万9,746人でした。死者数は同210人減の3,694人で、警察庁が保有する1948年以降の統計で最少となりました。

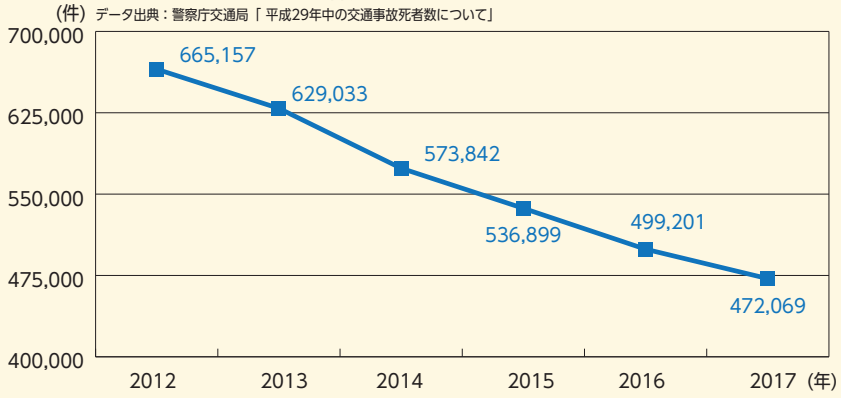
事故件数、負傷者数、死者数のすべてが減少している要因のひとつに、先進安全技術の普及があることは間違いないでしょう。国土交通省の調べによると、衝突被害軽減ブレーキと低速域衝突被害軽減ブレーキを装着した乗用車の合計生産台数は、2016年に251万1,190台となり、その普及が急速に進んでいることが分かります。各種先進安全技術の普及拡大を受け、国交省では車載式故障診断装置（OBD）を活用した自動車検査手法について検討をはじめました。

先進安全技術の普及は点検・整備作業だけではなく、補修作業にも大きな影響を与えます。事故によるホイールアライメントの狂いや、センサーの位置のずれなどは先進安全技術の誤作動につながりかねません。これら技術を搭載した車両を修理する際、工場には各種装置の仕組みを理解した上で作業することが求められており、装置の動作に影響を与えかねない作業をした場合には、適切な点検・調整が必要となります。また万が一納車後に各種装置が誤作動を起こした場合、その原因が工場の修理にないことを証明しておくため、各作業の記録を残しておくことも今後重要となるでしょう。

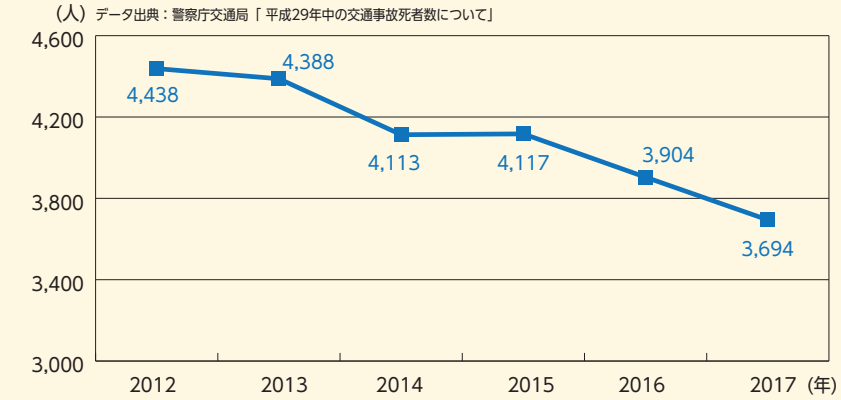
こうした変化を受け、いくつかのダイレクト型損害保険会社は、第三者検査機関の認証を取得した修理工場との提携を進める方針を示しています。今後保険会社が入庫誘導先を決定する際、先進安全技術への対応力はますます重要視されるようになると予想されます。

自動車技術が変革する中、自動車整備・修理工場には、関連する幅広い情報を収集して自社の方向性を決定し、必要な設備機器への投資を進め、対応する技術力を獲得していくことが強く求められています。

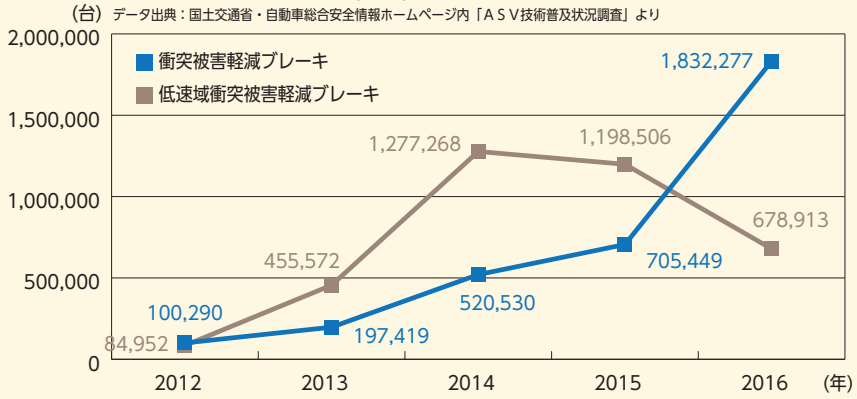
グラフ1　交通事故発生件数の推移



グラフ2　交通事故死者数の推移



グラフ3　国内生産車両（乗用）における衝突被害軽減ブレーキ装着台数の推移



NGP 今月のCO_2削減量

リユース部品利用に伴うCO_2削減量

平成29年12月：**2,853t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）を対象に算出した数値です。

リターナブル梱包材利用に伴うCO_2削減量

平成29年12月：**4.5t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO_2排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

東京オートサロン2018開催

自動車の魅力を広く訴求し、カーアフターマーケット全体の市場拡大へ

毎年1月に開催されるカスタムカーと関連製品の展示会「東京オートサロン2018」が1月12～14日の3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されました。

出展者442社、車両880台が集まった同会場には、3日間合計で31万9,030人が訪れています。出展者の中には自動車修理工場の姿も少なくなく、各社が施したドレスアップに大きな注目が集まりました。

またドレスアップカスタムや各種チューニングだけではなく、車体表面の保護を目的とした塗料や、美観維持に役立つコーティング剤の紹介など、会場に集まった車への関心が強いカーオーナーへ向けた製品・サービスが各所で紹介されました。車への興味・関心を高める同イベント及び各出展者の取り組みは、カーアフターマーケット全体の市場拡大にもつながるものと期待されます。

NGP組合員 かわら版

NGP理事・役員、明治神宮を参拝
アフターマーケット全体の発展を祈願

佐藤理事長（中央）とNGP理事・役員

佐藤幸雄理事長をはじめとしたNGP協同組合理事及び(株)NGP役員は1月26日、明治神宮（東京都渋谷区）に参拝し、毎年恒例の新年祈願を行いました。

佐藤理事長は参拝後、「今年、私たちは自動車リサイクル業界だけではなく、自動車アフターマーケット全体を考え、行動していかなければならないと考えています。アフターマーケットにかかわる様々な業界との横のつながりを強め、情報を共有しながら、カーオーナーに向けて何ができるのかを真剣に考えなければなりません。NGPは今後も各団体と協力しながら、アフターマーケット全体に対するカーオーナーからの信頼をさらに高めるため、各種事業を展開して参ります」と、新年の抱負を話しています。

プレゼントクイズ

Q. これは、どの車種のヘッドライト?

クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント！

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。
ご応募の締め切りは3月25日到着分までとさせていただきます。

■下記の応募用紙に解答と必要事項を記入しFAX をお送りください。FAX 番号はお間違えのないようお願いいたします。

「プレゼントクイズ」係　応募用FAX番号　03-5475-1209

解答	お名前	職業	住所	電話番号	年齢	性別
					歳	男・女
NGPニュースで取り上げてほしいテーマ						

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
東海	株式会社コマゼン	会社代表	代表取締役　木村 香奈子	30年1月1日

訃報

29年12月20日、株式会社パーツライン（長崎県佐世保市）代表取締役、多久島康彦(たくしま　やすひこ）様がご逝去されました。享年51歳。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1208　FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1200　FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/